

広島県知事と昼食懇談会 ～福祉の仕事について話し合い～

地域密着型特別養護老人ホーム星の里 長尾 浩明

9月5日(月)広島県庁知事室で湯崎英彦県知事と福祉に関する昼食懇談会がありました。

この会は福祉の現場で働く30代の職員からのヒアリングという目的で、県内の「魅力ある福祉・介護職場宣言をしている事業所と広島原爆被爆者擁護事業団から計6名の職員が参加しました。

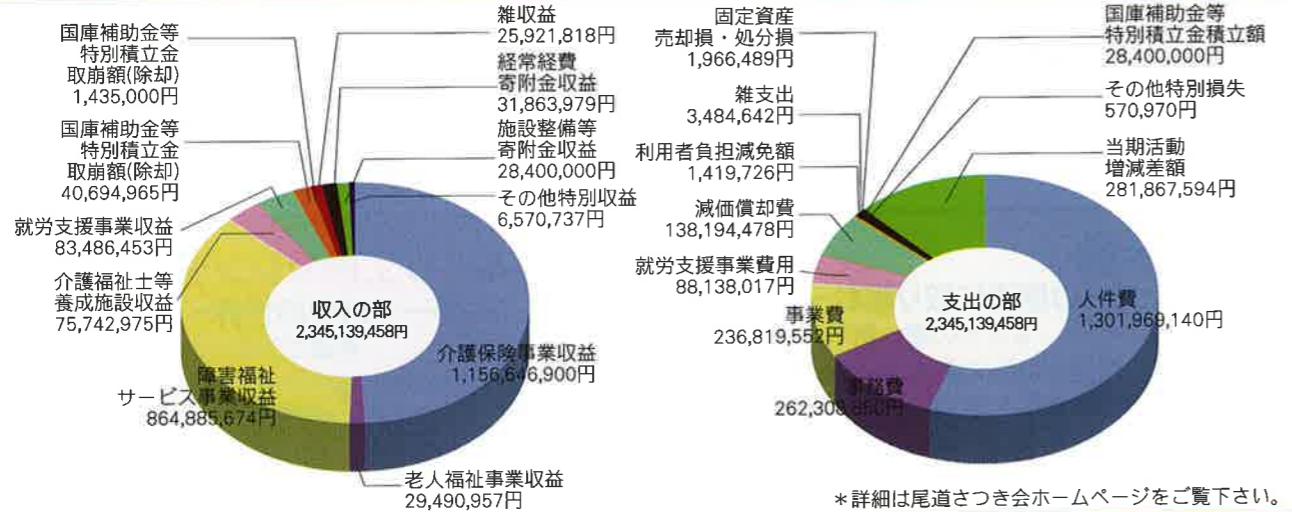
知事は福祉・介護の現場での離職率やイメージの問題に関心を持っており、そのことについて質問がありました。「マイナスイメージなことが多く報道されるが、福祉の仕事が良い仕事と思えることはたくさんある」と現場の意見を伝えました。

知事からの「介護は必要な仕事だから、もっと良いイメージのPRに力を入れていこう」という力強い言葉を頂き、自分たちの仕事を県も応援してくれていると直接感じることができました。



▲知事を囲んで和やかに進んだ懇談会(左端が長尾職員)

2015年度 尾道さつき会収支状況



福祉車両の寄贈がありました



▲星の里で行われた贈呈式

一般財団法人中国地方郵便局長協会から、

星の里ケアハウスへ車いす積載用福祉車両の寄贈がありました。車両は「トヨタシエンタX 1500CC」で、9月23日に贈呈式を行いました。

寄付者一覧

(2016年5月～2016年8月・順不同・敬称略)

<寄付金> 鼻孝子 芦田孝子 万福寺佛教婦人会
尾道さつき作業所保護者会 (株)地域総合設計
匿名希望2

<寄付物品> 岩本公平 西岡光正 尾道電友会 藤原清二

編集後記

ビーチボールバレーの試合で富山県に行ってきました。尾道は魚が名物ですが、それに劣らぬおいしい刺身をいただきました。お勧めは白えびのかき揚げ丼です。
(M.O.)

新商品のご案内 ピールキャンディ
販売開始:9月中旬
販売価格:オリジナル缶入り 28g 720円(税別)

特養改修工事始まる ～よりよい生活空間へ～

特別養護老人ホーム星の里 村上 佳代

このたび、特養本館の内部をリニューアルすることになりました。平成8年の開所から20年。今回が初めての大規模な改修になります。

改修の主な目的は「多床室にもしっかりととしたプライベートな空間を作る」「生活環境を快適にする」「家族ともくつろげる空間を作る」の3点です。

完成予定は平成30年3月末になります。しばらくの間ご不便をおかけいたします。



▲改修後の中央食堂イメージ図

さつき

第57号
平成28年10月

発行
社会福祉法人
尾道さつき会
広島県尾道市久保町1786番地
TEL (0848) 37-7272
FAX (0848) 37-9610
<http://www.satukikai.com>



見て、踊って、食べて

～地域とコラボで盆踊り大会～

みつぎ清風園 杉原 富夫

8月6日、夕暮れ時の18:00から地域の方々の協力を得て「みつぎ清風園盆踊り大会」を盛大に開催することができました。施設では一番大きな行事です。当日は天気も味方してくれ、総勢約300名の参加者で賑わいました。

利用者さんによるカラオケ大会に始まり、地域住民の「みあがりおどり」(無形民俗文化財)、「備後かわち太鼓」の演奏や傘踊りが披露され、最後は利用者さんも一緒に参加できる手踊りなど、多くのプログラムで盛り上がりました。地域交流も大きな目的であり、参加協力はすべて御調町内の団体にお願いし、地域の伝統ある演技を披露してもらいました。

屋台は、自慢の焼きそばをはじめ6店舗を無料で出店しました。その中でもボールすべりは、利用者さんだけでなく地域の子どもにも大人気で、何回も挑戦する子がいたり、利用者と並んで一緒に楽しんだりとほほ笑ましい姿が見られました。



▲みあがりおどり観賞中



▲みんなで風船釣り



▲綿菓子食べ放題

当法人に経営移管後、初めての大きな行事を無事に終えることができ、ひと安心しています。それ以上に利用者さんの楽しそうな笑顔や、地域の方々の迫力ある演技を真剣に見入る姿など、普段とは全く違った表情を見ることができます、達成感を感じました。

今後も引き続き地域とのつながりを大切にしながら、オープンな施設運営と利用者へのサービス向上に取り組んでいきます。

星の里で敬老会を開催 ~末永くお元気で~



▲100歳以上の方々の表彰

特別養護老人ホーム星の里では、9月11日(日)に敬老会を開催しました。入所者の皆さんとそのご家族合わせて約100人の方が参加し、長寿者のお祝いと向東町で活動している「天女浜ダンサーズ」による踊りの鑑賞を行いました。

長寿者のお祝いでは、100歳以上の方に内閣総理大臣表彰と尾道市からのお祝いを、百寿・卒寿・米寿を迎えた方に家族会からのお祝いの贈呈がありました。今年は11人の利用者さんをお祝いすることができました。

また、来賓の小島敏文衆議院議員から祝辞をいただきました。苦難の道を歩んだこれまでのご苦労に敬意を表します。このご長寿とご健康を祈念されました。

踊りの鑑賞では、「お富さん」「港町十三番地」など懐かしい曲で踊りの披露がありました。時には、出演者と客席が一体となって踊る演目もあり、利用者さんは、「昔からなじみのある曲で懐かしかった。一緒に踊れてよかったです」と、大変喜んでいました。

末永く元気で過ごしていただけるように、ケアの質の向上に努めたいと思います。



▲天女浜ダンサーズによる踊りの鑑賞

拡がる 就労実習

～障害理解にも貢献～ ワークスさつき 佐藤 秀征

利用者さんの一般就労へのステップアップにつなげるため、昨年12月から新たな施設外就労先である「株式会社シーエックスカーゴ」での実習に取り組んでいます。

同社は、尾道市美ノ郷町の尾道流通団地内にあり、日本生協連のCO・OP商品を中四国の家庭に届けるための仕事を一手に担っている企業です。

実習では、気温5℃の倉庫内で保冷バッグを組み立てる作業と蓄冷材を詰め替える作業を行っています。継続した実習への参加が半年経過し、シーエックスカーゴからも「戦力になっている」とお墨付きを頂いています。

実習に参加する利用者さんは、食堂や更衣室等の設備をシーエックスカーゴ従業員と同じように使用しています。作業能力の向上だけではなく、一般企業の「環境」を利用者が日々実体験し、就職したときのイメージを付けやすくする狙いがあります。



▲洗浄用コンテナに蓄冷材を詰め替える作業



▲従業員の方々と食事中



▲CXカーゴの外観

さらに従業員の方々との接点が生まれることで、従業員への障害者の理解にもつながればと考えています。従業員との人間関係構築は始まったばかりですが、シーエックスカーゴと協働し、一人でも多く利用者さんの就職につながるよう努めていきます。



児童発達支援センターあいあいでは、ことばが増えにくい、動きが多い、コミュニケーションがとりにくいなど、育ちにくさや育てにくさを有する就学前、就学後の子どもたちへの発達支援を行っています。また、幼児期から学齢期の豊かな発達を支援するため、通所支援事業（児童発達支援、放課後等デイサービス、保育所等訪問支援）、相談支援事業（障害児相談支援、特定相談支援）、障害児等療育支援事業を実施しています。

ドキドキ、わくわくを大切に

児童発達支援センター あいあい 居阪 千尋

Q1 どんな仕事をしていますか？

「人への信頼感、自分への信頼感を育てる仕事」

子ども一人ひとりの発達に合わせた療育活動を通して、「人と遊ぶことが楽しい」「自分でいいな」という意欲や自信を高める取り組みを行っています。また、保護者の方へは、発達についての学習会や子どもの成長と一緒に確認することで、じっくりと子どもと向き合うことができるよう支援しています。



Q2 仕事をするうえで大事にしていることは何ですか？

「心から楽しいと思える遊びをたっぷりと楽しむ」

まず、感性豊かな子どもたちが、心から楽しいと思える活動や遊びを職員も一緒に楽しむことです。その中で、子どもたちの気持ちに寄り添い、楽しんでいる姿や葛藤する姿を通して、子どもたちが生活の主人公になれるよう心がけています。「ドキドキ」「わくわく」と、心が踊る環境の中で、「もっとやりたい」の気持ちを大切に、子どもたちの生活していく力の土台を育みたいと思います。



拡がる 就労実習

～障害理解にも貢献～ ワークスさつき 佐藤 秀征

利用者さんの一般就労へのステップアップにつなげるため、昨年12月から新たな施設外就労先である「株式会社シーエックスカーゴ」での実習に取り組んでいます。

同社は、尾道市美ノ郷町の尾道流通団地内にあり、日本生協連のCO・OP商品を中四国の家庭に届けるための仕事を一手に担っている企業です。

実習では、気温5℃の倉庫内で保冷バッグを組み立てる作業と蓄冷材を詰め替える作業を行っています。継続した実習への参加が半年経過し、シーエックスカーゴからも「戦力になっている」とお墨付きを頂いています。

実習に参加する利用者さんは、食堂や更衣室等の設備をシーエックスカーゴ従業員と同じように使用しています。作業能力の向上だけではなく、一般企業の「環境」を利用者が日々実体験し、就職したときのイメージを付けやすくする狙いがあります。



▲洗浄用コンテナに蓄冷材を詰め替える作業



▲従業員の方々と食事中

絵画活動

～カレンダーの原画に取り組む～

すだちの家 新宅 記枝

毎月1回、尾道を中心に画家、指導者として活動中の篠原瞳先生を講師に迎え絵画活動を行っています。

毎回さまざまな技法を学び、利用者さん一人ひとりが自由に描いています。完成した作品が、どんぐり工房カレンダーの原画に選ばれることを目標に意欲的に取り組んでいます。

また、作品展に応募し、入選をする人も多くなりました。自分の作品が展示されると、利用者さんは「見て見て!」「恥ずかしくなっちゃう」と喜んでいます。



これからも絵画活動を通して、利用者が自分たちの思いを楽しく自由に表現するお手伝いをしたいと思います。

2017どんぐり工房カレンダー販売中

～テーマは夢の世界～

尾道サンホーム 高橋 宏滋



今年も尾道市立大学美術学科と共同で、「2017どんぐり工房カレンダー」を制作しました。テーマは「Dream Art」(ドリームアート)です。尾道さつき作業所、尾道サンホーム、すだちの家、むかいしま作業所、そして新たに、あいあいの利用者さんの作品もあります。選ばれた26作品は、現実にとらわれない、夢の世界のように自由奔放なものを中心に集めました。

書き込みしやすい日付欄、冠婚葬祭に便利な六曜の表示、そして観光地尾道の行事が分かる年間スケジュール欄を盛り込みました。卓上カレンダーとのセットで、税込1,000円です。10月から販売を開始しています。必要に応じて宅配や郵送も承ります。素敵なお手本と一緒に夢の世界を旅しましょう。

連絡先:尾道さつき作業所 TEL.0848-23-8004